

「今月の1枚」



オオキンカメムシ（半翅目キンカメムシ科） *Eucorysses grandis*

体長約20-25mmの、橙地に黒紫色の非常に美しい斑紋を持つカメムシの一種です。腹部も蛍光ピンクと紺色の縞模様で、身体全体が色彩に富んでいます。南方系で海岸近くの照葉樹林帯に生息し、本州の太平洋側から中国東南アジアまで分布しますが、移動性が強く、東北地方や北海道からの捕獲記録もあります。幼虫はアブラギリ、センダン、クチナシ、ハゼの実を吸汁します。冬になると成虫はツバキ、トベラ、ミカン類等の葉の裏や、建物の隙間などに集団をつくり越冬をします。キンカメムシ科には美麗種が多く、人の目を魅了させますが、やはりカメムシの一種。下手に手を出すとカメムシ臭がします。

（写真・文：松本剛史 2007.10. 高知県室戸市にて撮影）

（N0.163 2007.11.16 掲載）